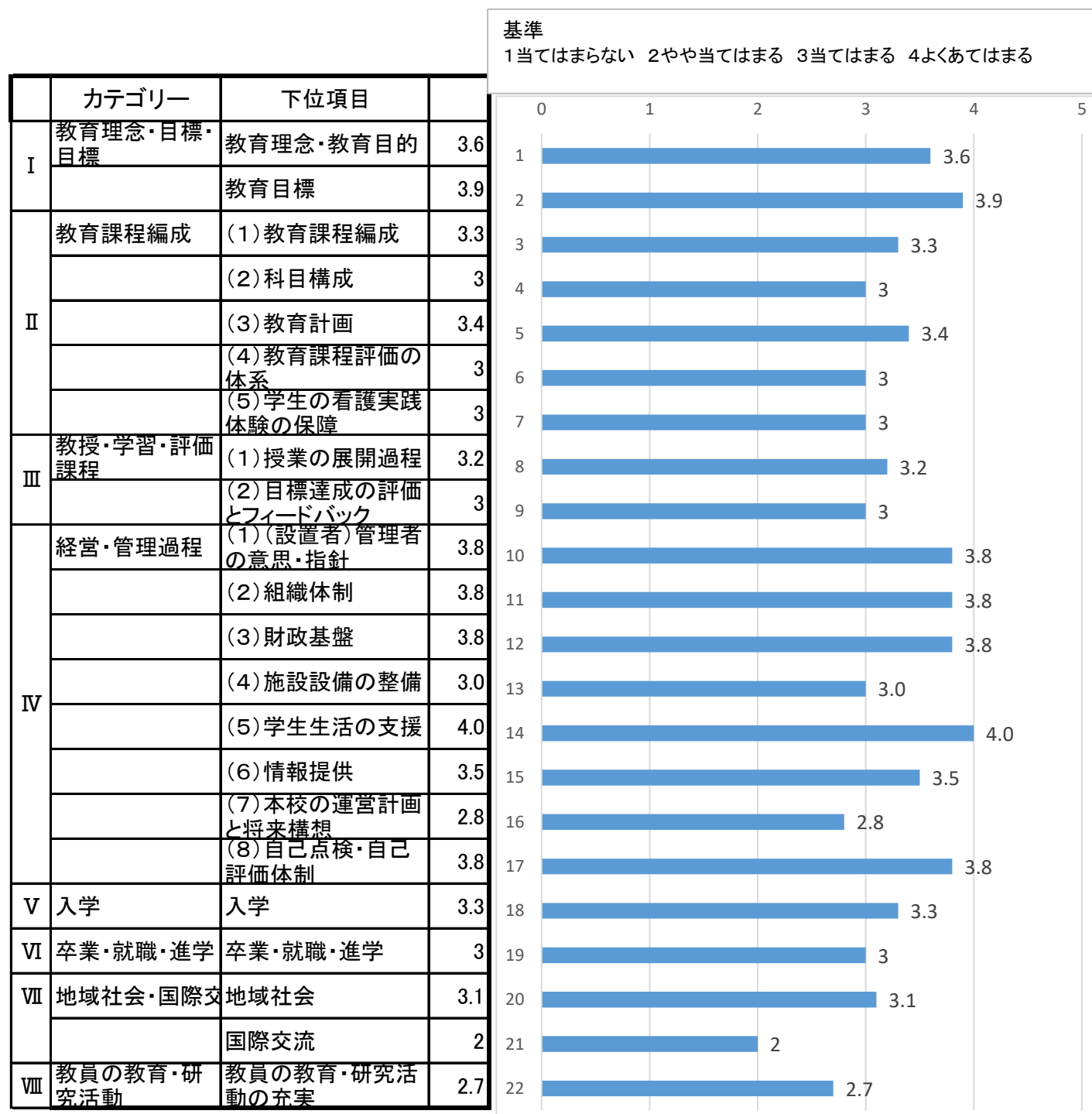


表Ⅲ 令和6年度 武生看護専門学校 自己点検・自己評価の結果



概要と課題

- ・ 全体的にほぼ例年どおりの結果であった。
- ・ Vの入学については、年々入学生の応募者数が減少し、定員数確保が困難になっており、今年度学生確保のための方策を強化した。その結果、次年度入学生は今年度を下回ることはない見込みであるが、さらに学生確保のための努力をしていく必要がある。
- ・ VIIの地域社会・国際交流については、国際的視野を広げるための授業科目は設定していないが、看護学概論の講義の中に国際協力体験者の講義を取り入れたり、英語の授業を2単位60時間設定し、国際的視野を広げるための講義内容としている。また、地域内における様々な資源を把握し、教育活動にこれまで以上に取り入れていく必要がある。
- ・ 教員の教育・研究活動については、例年から低い傾向にある。従来業務の中でスクラップできるものがないか検討し、講義準備や自己研鑽の時間を確保するような工夫が必要である。